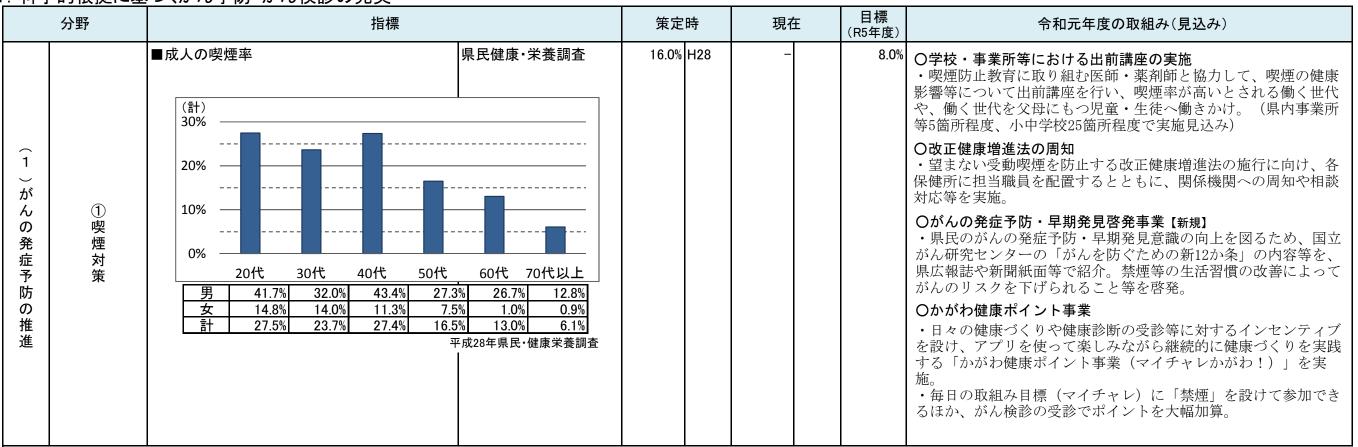
第3次香川県がん対策推進計画に基づく進行管理及び令和元年度の取組みについて

全体目標

■計画における数値目標 □進行管理のための参考指標

分野	指標							策定	≧時	現在	Ē	目標 (R5年度)				
	■がんの年齢調整死 男性 女性	亡率(7	5歳未満	韦)		国立がん研究	究センターが	ん対策情報	センター	101.9 53.1		86.2 50.1	H29	88.2 47.4		
	(参考)がんの年齢調整死亡率、増減率(性別・部位別、75歳未満) (単位)年齢調整死亡率 : (人/1					Ⅰ 率:(人/10	0万人) 増減	■ 咸率 :(%)				(参考)がんの死亡者数 (参考)がんの罹患者数 (1年間の新規患者数)				
		全 <i>t</i> 里	がん 女	里	貴	大里	腸女	斯 里	市	乳房女	子宮女				男女 計金がん 1,754 1,206 2,960 生がん 5,232 3,706 8,938	4
	平成17年(2005)	110.2	59.3	19.9	9.9	11.9	5.7	22.9	5.5	8.9	3.1				胃 242 144 386 胃 874 402 1,276	-
	平成29年(2017)	86.2	50.1	12.3	6.7	10.0	5.7	20.8	5.5	9.1	4.4				大腸 174 179 353 大腸 676 512 1,188	_
	増減率(%)	-21.8	-15.5	-38.2	-32.3	-16.0	0.0	-9.2	0.0	2.2	41.9				肺 468 176 644 肺 818 401 1,219	
	(参考)全国(2017)	92.5	56.4	12.0	4.6	13.2	7.4	20.8	6.0	10.7	4.8				乳房 99 99 乳房 748 748	_
	(参考)全国との差	-6.3	-6.3	0.3	2.1	-3.2	-1.7	0.0	-0.5	-1.6	-0.4				子宮 50 50 子宮 217 217 平成29年人口動態統計 全国がん登録(2016)	
							玉	立がん研究	ミセンターカ	がん対策情	報センター				一	

1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実



■計画における数値目標 □進行管理のための参考指標

	分野	指標		策定時		現在	Έ	目標 (R5年度)	参考	令和元年度の取組み(見込み)	
	①喫煙対策									○働き盛りの健康づくり支援事業 ・全国健康保険協会香川支部と連携して、「健康経営」の手法を 活用し、中小企業の従業員とその家族の生活習慣の改善やがん検 診・特定健診の受診率向上を図るなど健康づくりを推進。禁煙に 関する取組みも評価し促進。(健康宣言事業所数 254事業所 (7月末現在)) ○県民への普及啓発、情報提供等 ・県ホームページで禁煙治療可能な医療機関の情報を掲載するとともに、各種イベントや事業所で肺年齢測定器等を活用した健康チェックを実施。	
(1)がんの発症予防の推進	②食生活、運動等の生活習慣の改善	□野菜摂取量(20歳以上) □食塩摂取量(20歳以上) □日常生活における歩数(20~64歳) 男性 女性 □運動習慣者の割合(20~64歳) 男性 女性 □生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合 男性 女性	県民健康・栄養調査	271g 9.5g 7,825歩 6,315歩 22.5% 14.6% 14.9% 6.5%		-			350g [※] 8g [※] 9,000歩 [※] 8,500歩 [※] 36% [※] 33% [※] 12.4% [※] 6.7% [※] ※ 健	○働き盛りの健康づくり支援事業(再掲) ・全国健康保険協会香川支部と連携して、「健康経営」の手法を活用し、中小企業の従業員とその家族の生活習慣の改善やがん検診・特定健診の受診率向上を図るなど健康づくりを推進。 ○広報誌等における周知啓発 ・健康づくりセミナーや広報誌、健康相談等により、がん予防に	
	③感染に起因するがん予防対策	B型肝炎ウイルス検査 B型肝炎ウイルス検査受診者数 C型肝炎ウイルス検査受診者数 □HTLV-1抗体検査数	健康増進事業に基づく肝炎ウイルス検診の事業実績報告 子ども家庭課調 地域保健・健康増進事業報告	6,250 6,253 7,381	H28年度 H28 H28	6,206 6,203 7,253 72	H29年度 H29 H29			 ○肝炎ウイルス検査事業 ・県内の保健所及び指定医療機関でB型肝炎・C型肝炎ウイルス検査を実施。 ○肝炎医療費助成事業 ・B型肝炎患者、C型肝炎患者等に対する抗ウイルス治療にかかる医療費の助成を実施。 ○陽性者フォローアップ事業 ・B型肝炎・C型肝炎ウイルス陽性者に対して、医療機関への受診・受療勧奨、及び受診状況の確認を実施。 ○感染に起因するがんに関する周知啓発 ・子宮の日等のイベントでリーフレット等を配布。 	

■計画における数値目標 □進行管理のための参考指標

	分野	指標	策定時		現在		目標 (R5年度)	参考	令和元年度の取組み(見込み)		
	① が	■がん検診受診率※40歳~69歳(子宮がんは20歳~69歳) 胃がん 大腸がん 肺がん 乳がん 子宮頸がん	国民生活基礎調査 (3年毎)	45.6% 46.3% 54.9% 49.3% 49.0%	⊣ 28	- - - -		55%以上	(全国平均 (H28)) 40.9% 41.4% 46.2% 44.9% 42.4%	・がんの発症予防・早期発見啓発事業と併せて、受診啓発ポスターや啓発資材を作成、配布。 〇ピンクリボンかがわ県協議会等と協働した乳がん検診啓発・乳がん月間である10月に丸亀町商店街のライトアップイベントの開催(10月2日(点灯式)~10月31日予定)(後援)	
(2)がんの早	2ん検診の受診率の向上									○かがわマンモグラフィサンデー事業 ・乳がん月間である10月の休日等に、香川県総合健診協会をはじめとする検診機関・医療機関の協力により、乳がん検診「かがわマンモグラフィサンデー」を実施。 ○初めての子宮がん検診応援事業 ・県内大学や専門学校等の女子学生を対象とした健康教育や子宮頸がん検診を実施。 ○子宮がん検診啓発イベントの開催 ・県総合健診協会では、「集合!知って得する女子力アッププロジェクト」を開催し、特に若い世代を対象に、自分の体と検診の大切さを知ってもらう機会を提供。(7月8日) ○市町がん対策担当者意見交換会の開催 ・がん検診受診率や精密検査受診率の状況等を共有し、向上方法を検討した。(7月23日) ○がん診療施設設備整備事業 ・がん検診実施体制の整備のために必要な医療機器及び臨床検査	
期発見・早期治療の推進	②精密検査の受診率の向上	□がん検診精密検査受診率(各部位) 胃がん(エックス線) 胃がん(内視鏡) 大腸がん 肺がん 乳がん 子宮頸がん □精密検査未把握率 胃がん(エックス線) 胃がん(内視鏡) 大腸がん 肺がん 肺がん 肺がん 清密検査未把握率 =精密検査未把握率 -精密検査未把握者 ・許容値:10%、目標 ・精密検査未把握率	地域保健・健康増進事業報告 首数/要精密検査者数 値:5%とされている。 が高い場合、要精密検査者に えていない可能性がある。	77.1% F 88.2% — 66.9% 92.7% 93.3% 78.5% 4.9% — 16.7% 2.5% 4.8% 6.7%	H27	80.8% 91.4% 89.8% 72.2% 92.2% 96.0% 83.7% 2.4% 5.1% 10.6% 1.6% 2.0% 3.6%	H29	90%以上	(全国平均 (H29)) 81.7% 83.6% 68.5% 76.8% 75.4% (全国平均 (H29)) 10.9% 14.0% 17.6% 8.8% 17.6%	機器等の整備に要する経費を補助。(昨年度実績 5医療機関) ○がん検診の受診啓発等 (再掲) ・精密検査の重要性についても普及啓発を行う。 ○市町がん対策担当者意見交換会の開催 (再掲) ・がん検診受診率や精密検査受診率の状況等を共有し、向上方法を検討した。(7月23日) ○精密検査協力医療機関名簿の作成・周知 ・要精密検査と判定された者への情報提供に資するため、精密検	
	③がん検診の精度管理の充実	実施する中可数 胃がん(エックス線) 胃がん(内視鏡) 大腸がん 肺がん	健康福祉総務課調 がん検診の実施に必要な遵る。例:検診の不利益など受 目、検診を医療機関等に委 記載すべき項目	14/17 15/17 13/17 15/17 12/17 12/17	129年度	16/17 17/17 16/17 17/17 17/17 17/17	H30年度			○5がん各部会の開催 ・市町のがん検診の結果を評価し、国の指針に基づき適切な精度管理を行うため、がん種ごとに部会を開催。 ○がん検診の精度管理調査及びがん検診従事者講習会 ・がん部会によるがん検診従事者講習会を開催予定。 ・市町のがん検診の精度管理調査を市町及び受託医療機関に対し実施。 ○がん検診精度管理推進会議の開催 ・検診・精密検査の受診率の向上や精度管理の充実のための検討や情報共有を実施予定。(昨年度は国立がん研究センター雑賀先生に講演いただき、市町の検診の精度管理について分析)	

2. 患者本位のがん医療の実現

■計画における数値目標 □進行管理のための参考指標

分野	指標		策定時	現在	目標 (R5年度)	令和元年度の取組み(見込み)	
(1)がんの各治療法等の充実とチーム医療の推進	□キャンサーボードで検討がなされた人数 □外来化学療法加算の算定医療機関数 □がんゲノム医療連携病院数 (参考)がん診療連携拠点病院等の指定状況 区分 区分 を摂るがん診療連携拠点病院 香川大学医 香川県立中地域がん診療連携拠点病院 高松赤十字 香川労災症地域がん診療病院 三豊総合症	央病院 平成31年4 法病院 平成31年4 院 平成31年4	- 0 H28年度 指定期間 月1日~令和5年 月1日~令和2年 7月1日~令和2年	3月31日	, , , ,	○新指針によるがん医療の提供 ・国による拠点病院等の指定更新が行われ、拠点病院等では、今年度より新たな指針に基づき、がんの各治療法等の充実や多職種でのチーム医療に取り組んでいる。 ○がんゲノム医療の提供体制整備 ・香川大学医学部附属病院及び県立中央病院では、がんゲノム医療連携病院として、がんゲノム医療を提供する体制を整備。 ○免疫療法の正確な情報の周知啓発 ・免疫療法の正確な情報や、県内拠点病院等における実施状況を周知。	
の(2)それぞれのがんの特性や世代に応じた対策	(参考)小児・AYA世代(思春期・若年成人世代 (1年間の新規患者数) 0-14歳 15-19歳 20-29歳 30-39歳 男 11 3 20 42 女 10 7 20 99 計 21 10 40 141 全国がん登録(2016) ・全国では、0歳から19歳では白血病、20歳代では 30歳代では女性の乳がんが最も多い。(国立がん研 ・本県でも、概ね同様の傾向。	E細胞腫瘍・性腺腫瘍、				○がん患者等の妊孕性温存治療費の助成【新規】 ・子どもを産み育てることを望むがん等の患者が将来に希望を持って治療に取り組めるよう支援するため、生殖機能を温存する治療(妊孕性温存治療)に要する費用の一部を助成。(6月申請受付開始) ・医療従事者や相談対応者向けの研修会を開催。(8月18日) ○香川県がん患者ニーズ調査の実施【新規】 ・県がん対策推進計画の中間評価に向け、がん対策を取り巻く状況の変化やがん患者のニーズを把握するため、がん医療やがん患者の療養生活に係る実態や意見等について、調査を実施予定。	
(3)がん登録の推進	 ■がん登録の精度向上 DCN(DCI)[※] DCO ※ 平成28年登録データから、統計手法が変更され、Iとされている。 DCN: 死亡小票データのがんによる死亡確認でをDCI: DCNのうち遡り調査の結果がんではなかったDCO: 遡り調査を行っても診断情報が把握できな 	刃めてがん罹患が把握された者 と者を除いた割合(Death Cert:	行の割合(Death Cer ificate Initiated)		_	○全国がん登録事業等の実施 ・香川大学医学部附属病院内の香川県がん登録室において実施。 ○がん登録情報の活用【新規】 ・全国がん登録の集計が確定したことに伴い、がん登録情報の利用に必要な手続きについて、県ホームページや市町がん対策担当者意見交換会等で周知。 https://www.pref.kagawa.lg.jp/content/etc/subsite/cancer/touroku/zenkoku.shtml ・がん検診啓発資材等に、がん登録情報を活用。	

3. 尊厳を持って安	心して暮らせる社会の構築			■計画における数値目標 □進行管理のため					
分野	指標		策定	時	現在	Ξ	目標 (R5年度)	令和元年度の取組み(見込み)	
(1)がんと診断緩和ケアの推進	■緩和ケア病棟(病床)を有する病院 □緩和ケア研修の修了者数 うち拠点病院以外の医師・歯科医師数 □緩和ケアチームによる年間新規診療症例数	医療施設調査 診療報酬施設基準等 健康福祉総務課調 拠点病院現況報告 香川県がん診療連携協議会	_ 748件		13人 811件		15病院 5病院	○緩和ケア研修会の開催 ・拠点病院において、がん診療に携わる医師、歯科医師及びその他の医療従事者に対して、国の指針に基づく緩和ケア研修会を開催。今年度よりすべての病院で、平成29年12月に改正された新指針に基づき実施。	
(2)がんに関する相談支援や情報提供体制の充実		患者二一ズ調査 拠点病院現況報告 患者ニーズ調査	32.2% 9,869件 91.8%	H29年度	- 9,499件 -	H30年度		○「地域の療養情報」の作成・配布 ・がんと診断された方が必要な情報を得られるよう、拠点病院や市町、患者会等と協力して周知・配布。 ○がん患者等に対する相談業務委託 ・がん患者等と同じ立場の者による相談(ピアサポート)の機会を設けることにより、がん患者等の療養生活等に対する支援を実施。 ○がんピアサポートセミナーの開催 ・昨年度に引き続き、ピアサポートを充実させるための知識・技術の向上を図るためのセミナーを開催予定。 ○がん患者の療養生活に関する講演会の開催 ・がん患者会ネットワーク香川では、在宅診療敬二郎クリニック院長による講演やがんと在宅医療のこれからの在り方に関するパネルディスカッション等を実施。県からも県のがん対策について説明(6月30日) ○がん診療連携拠点病院等への専門家等派遣 ・がん患者やその家族の相談や療養生活の質の向上につながる相談等に対応する専門家を派遣。	
(3)社会連携に基づくの支援	口自宅等 [※] で亡くなるがん患者の割合 ※自宅、介護老人保健施設、老人ホーム	香川県がん診療連携協議会人口動態統計	15.5%		135件 16.4%	H30年度 H29		○拠点病院等における地域連携の促進 ・拠点病院等において、地域の医療連携のツールである「地域連携クリティカルパス」や「私のカルテ」を運用。 ○自宅や介護施設で療養生活を送る人への対応(再掲) ・在宅医療・介護を担う人材の育成や、多職種連携を促進。 ○人生の最終段階における医療・ケアの普及啓発[新規] ・人生の最終段階における医療・ケアを県民が自らの希望に基づき決定できる体制の確保を図るため、関係者の資質向上を目的とした医療従事者向け研修や県民向け公開講座を開催予定。	
(4)がん患者等を取り巻く社会的な問題への対応	□がんと診断後も仕事を継続している割合	患者ニーズ調査	66.8%	H27	_			 ○がん患者等の仕事と治療の両立支援 ・香川県地域両立支援推進チームによる、がん患者・経験者の仕事と治療の両立支援を実施。 ・治療と就労の両立について、香川労働局や協会けんぽ香川支部と協力し、事業者へ働きかけ。 ○療養中の生徒等への支援 ・患者やその家族の意向を確認し、入院、療養中の教育支援を実施。 	

4. がん対策を支える基盤の整備

ん進

教 育

の

目標 分野 指標 策定時 現在 令和元年度の取組み(見込み) (R5年度) □高度がん養成基盤プログラム受講者数 12名 H29年度 11名 R1年度 香川県がん診療連携協議会 ○がん医療に専門的に携わる医療従事者の育成 $\widehat{1}$ ・香川大学等において、「中国・四国高度がんプロ養成基盤プロ グラム」によるがん医療に専門的に携わる医療従事者を育成。 医者 〇地域がん診療連携拠点病院支援事業 療の ・拠点病院が行うがん医療に従事する医師等への研修、がんの相 従育 談支援及びがんに関する情報提供等に対し補助。 事成 □がん教育の実施学校数 健康福祉総務課調 H29年度 H30年度 ○がん教育推進事業等の実施 <u>2</u> 小学校 114/162 111/160 ・県内公立中学校の希望校に対して、ゲストティーチャーを派 中学校 42/74 55/73 高校 12/42 18/42 が推 ・がん教育推進委員会等で「香川県がん教育の手引き」に基づく

■計画における数値目標 口進行管理のための参考指標

・来年度以降のがん教育の必須化等を踏まえ、教育委員会において、学校医等への連絡協議会、教職員対象のがん教育研修会を開

授業の実施報告と内容検討を実施。

催予定。